

## 原 著

## HIV 感染者の身体障害者手帳への意見に関する考察

赤塚 光子<sup>1)</sup>, 高橋 紘士<sup>1)</sup>, 於保 真理<sup>2)</sup>, 小松 聖司<sup>3)</sup><sup>1)</sup> 立教大学コミュニティ福祉学部, <sup>2)</sup> コミュニティ福祉研究会,<sup>3)</sup> (社)長野県社会福祉事業団西駒郷受託業務経営事務所

**目的:** HIV 感染者の身体障害者手帳への意見と他の内部障害者のそれとを比較することで, HIV 感染者の視点から現行の身体障害者手帳の問題点を指摘すること。

**対象及び方法:** 『身体障害者手帳に関する調査』において『内部障害』と分類されたサンプル(有効数 398, うち HIV 47)を用い, クロス集計, 因子分析, 因子分析モデルを用いた分析を実施した。

**結果:** ① クロス集計の結果, 有意に差があった項目は「障害名」「写真」であった。② 「障害名」は, 「(HIV 以外の) 内部障害」のモデルでは「本人の属性」「本人の障害」の 2 因子に属し, 「HIV」のモデルでは「本人の障害」因子に属した。③ 「写真」は, 「内部障害」では「本人の属性」因子に属し, 「HIV」では 2 つの因子に属した。

**考察:** HIV 感染者にとっての現行の手帳の問題点は, 差別や偏見のある社会で利用するにはプライバシーが無防備に開示されてしまう手帳の仕様と, プライバシーを必要以上に開示させずに短時間で所持者と提示者とを同定できる利用システムではないこと, と考えられた。対策としては, 「本人の属性」因子のもつ提示者と所持者とを同定できる機能を保持しつつ, 「本人の障害」因子のもつスティグマ化を引き起こす機能の影響を小さくすることが妥当であると考えられた。また, 2 因子間の相関がほとんどなかったことから, 後者の因子のもつ機能への対策は, 前者の因子のもつ機能を損なわないと考えられた。

**キーワード:** 身体障害者手帳, HIV 感染者, 内部障害者

日本エイズ学会誌 4 : 96-103, 2002

## 緒 言

HIV 感染者が障害認定や障害年金の申請, 手帳の取得を行う時に, 医療関係者や行政関係者に対してプライバシーの保護に配慮する旨の指導がなされた<sup>1)</sup>。しかし, プライバシー保護に関する日本の社会システムに問題があるため, 社会制度の活用による社会参加を阻んでいる<sup>2)</sup>のが現状である。

筆者らは, 『身体障害者手帳に関する調査』を実施し, そのデータから HIV 感染者(免疫機能障害者)を中心に取上げて報告した<sup>3)</sup>。本稿の目的は, 身体障害者手帳の個人に関する情報の表示方法に対する HIV 感染者の意見と他の内部障害者のそれとを比較し, HIV 感染者の視点から現行の身体障害者手帳の問題点を指摘することである。

## 対象および方法

『身体障害者手帳に関する調査』は, 1999 年 11 月に関係

著者連絡先: 小松聖司(〒399-4101 長野県駒ヶ根市 2901-7 西駒郷受託業務経営事務所・生業部

Fax : 0265-81-6522, E-mail : koma2\_34@livedoor.com

2002 年 1 月 23 日受付 ; 2002 年 7 月 12 日受理

諸団体(日本身体障害者団体連合会, 全国肢体不自由児・者父母の会連合会, 全日本聾唖連盟, 日本盲人会連合, 全国低肺機能者団体協議会, 全国腎臓病協議会, 日本オストミー協会, HIV ソーシャルネットワーク, 全国心臓病の子供を守る会, 全国自立生活センター協議会)の御協力を得て実施された。調査方法は, アンケート票を団体ごとに郵送し, 各団体に回答者の選定, 送付, 回収を依頼した。その後, 回収されたアンケート票を筆者らに送付していただいた。

本研究には, この調査で「内部障害」に分類されたサンプルをデータとして用いた。ただし, フェイスシートの障害名の箇所が無記名なために「不明」と分類されたサンプルについても, 団体名が明らかであったのでサンプルに含めた。総サンプル数は 398 であった。分析項目には『身体障害者手帳に関する調査』の設問 9(カード化したときの手帳記載項目の所在に関する意見; 表 1)を用いた。分析方法は, 以下の 3 つとした。

① クロス集計。サンプルを HIV 感染者(サンプル数 47, 以下「HIV」と, それ以外の内部障害者(サンプル数 351, 以下「内部障害」)に分け, 手帳の各項目について  $\chi^2$  検定を実施した。欠損値は除外して分析を行った。

② 全サンプルを用いた因子分析。主因子法, プロマックス

表 1 質問項目一覧

9. カードにすると、カードの表面に見て分かる情報（次の部分は点字表示も可能）を入れ、カード内には特別な装置がないと読みとれない情報を組み込むことができます。今の身体障害者手帳に記載することになっている内容は、イ. カードの表面、ロ. 内部のどちらに入れたらよいと思いますか。あてはまるものを○で囲んでください。また、カードに入れる情報として不要であると思うときは、ハ. 不要に○をつけてください。

1 身体障害者手帳番号	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
2 発行都道府県名	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
3 氏名	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
4 生年月日	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
5 障害名	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
6 等級	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
7 減旅客運賃額	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
8 第一種・第二種身体障害者	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
9 写真	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
10 本籍（都道府県まで）	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
11 職業又は教育	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
12 本人の欄	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
13 本籍	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
14 現住所	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
15 保護者の欄	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
16 保護者氏名	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
17 続柄	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
18 保護者の現住所	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
19 補装具の欄	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要
20 注意事項	イ. 表面	ロ. 内部	ハ. 不要

回転（固有値 1 以上の因子）により実施した。欠損値はリストごとに除外した。

③ 因子分析モデルを用いた分析。データを「内部障害」と「HIV」の 2 つの集団に分けて実施した。分析②で抽出された因子のうち、分析①で有意に差があった項目が属する因子を中心的に取り扱った。欠損値のあるものはペアごとに除外したため、有効サンプルは「内部障害」198、「HIV」38 であった。まず、各集団を図 1 のモデルで分析し、その後、「パス係数が 0」という仮説が 5% の有意水準で棄却されたパス（Critical Ratio の絶対値が 1.96 未満）を原則として削除し、再分析した。

なお、分析②と③は、得られたデータを {イ. 表面→1, ロ. 内部→2, ハ. 不要→3} と数量化し、得点が多いほど「オープンにしたい情報として認識されている傾向にある」と仮定して実施した。分析③は、Spearman の順位相関係数  $\rho$  を分散共分散行列として用いた<sup>4)</sup>。データに正規

性を仮定していないことや、サンプルが少数であることから、最尤法で分析した<sup>5)</sup>。

## 結 果

### ① クロス集計表

$\chi^2$  検定の結果、設問 9 の項目で差のある項目は、「障害名」0.1% 有意、「等級」5% 有意、「写真」1% 有意であった。参考として、母集団の「年齢」、「性別」、「障害等級」、「種別」についても検定を実施した。その結果、「年齢」、「種別」0.1% 有意、「性別」5% 有意であった。「障害等級」は「1, 2 級」と「3-6 級」に分類して検定を行った結果、10% 有意であった（表 2）。

### ② 因子分析

因子分析の結果、6 つの因子が抽出された（表 3）。身体障害者手帳の仕様を参考にして、第 1 因子を「保護者」、第 2 因子「本人の欄」、第 3 因子「本人の障害」、第 4 因子「本

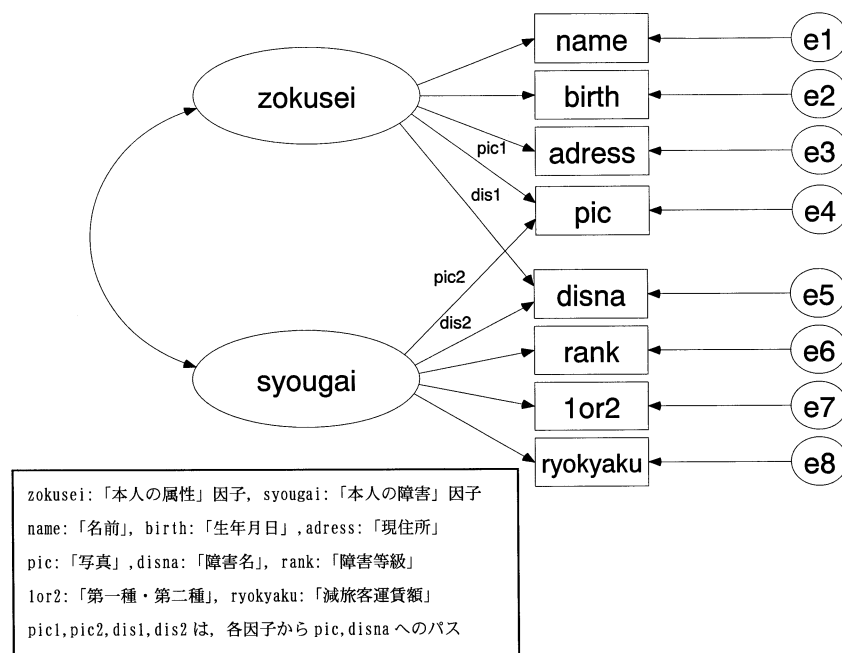


図 1 因子分析モデル

人の属性」, 第 5 因子「注意事項」, 第 6 因子「表紙」と名づけた。

### ③ 因子分析モデルを用いた分析

分析②では、「障害名」, 「減旅客運賃額」, 「写真」, 「現住所」の項目が、負荷量の大小の差はあったが「本人の障害」と「本人の属性」の 2 つの因子に属した。また、分析①では「写真」と「障害名」の 2 項目に有意な差がみられた。これらのことから、「写真」と「障害名」の 2 項目が「HIV」と「内部障害」を判別する特徴的な項目であると推察した。分析③では、各集団において「写真」と「障害名」がいずれの因子に属するのかを論じた。分析結果の統計量は表 4 に示した。

- ・ 図 1 のモデルで「内部障害」を分析した結果、5% の有意水準で棄却されるパスは pic2 (C.R.=1.706) であった。「HIV」の分析では、5% で棄却されるパスは pic1 (C.R.=1.913) と dis1 (C.R.=−0.782) であったが、pic1 のパスは C.R. 値から 6% では有意となるため、候補として残した。
- ・ 「内部障害」のモデルとして、モデル a1 (pic2 と dis2 を削除), モデル a2 (pic2 と dis1 を削除), モデル a3 (pic2 のみを削除) の 3 つのモデルを作成し、再分析を行った。分析の結果、P 値からは 3 つのモデルとも「モデルと観測データが異なっているとはいえない」という仮説は支持されなかった。RMR, GFI, AGFI, CFI の値は、モデル a3 が良い値を示した。相対的な規準である RMSEA,

AIC, CAIC の値もモデル a3 が良い値を示した。「内部障害」のモデルとしては、モデル a3 が適当と考えられた。

- ・ 「HIV」のモデルとして、モデル b1 (pic1 と dis1 を削除), モデル b2 (dis1 を削除) を作成して分析を行った。分析の結果、モデル b1 の P 値は 0.250, モデル b2 では 0.414 であり、両者ともに「モデルと観測データが異なっているとはいえない」という仮説は支持された。GFI, AGFI の値は両モデルともに良いとはいえないが、RMR, CFI の値はモデル b2 が良い値を示した。相対的な規準である RMSEA, AIC の値はモデル b2 が良い値を示したが、CAIC の値はモデル b1 が良い値を示した。また、モデル b2 では候補として残した pic1 の値が 5% 有意 (C.R.=2.182) となったため、このパスを削除する積極的な理由がなくなった。以上のことから、「HIV」のモデルとしては、モデル b2 が適当と考えられた。なお、参考としてモデル b3 (dis1 と pic2 を削除) を作成したが、統計量の値はモデル b1, b2 よりも良い値ではなかった。
- ・ 「障害名」は、「内部障害」では「本人の属性」, 「本人の障害」の両因子に属し、「HIV」では「本人の障害」因子に属した。「写真」は、「内部障害」では「本人の属性」因子に属し、「HIV」では両因子に属した。
- ・ モデル a3 における各因子の「障害名」へのパス係数は、「本人の障害」因子からのものは 0.524 であり、「本人の

表 2 クロス集計表一覧

		表面	内部	不要	$\chi^2$ 値	自由度	P 値	判定																																																																																																																																																																																																																																																		
設問 9-01	内部障害	237	49	5	1.879	2	0.391																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	40	4	1					設問 9-02	内部障害	244	39	3	3.201	2	0.202		HIV	36	7	2	設問 9-03	内部障害	228	61	2	1.876	2	0.391		HIV	32	12	1	設問 9-04	内部障害	162	124	3	3.508	2	0.173		HIV	22	21	2	設問 9-05	内部障害	89	196	3	40.262	2	0.000	p<.001	HIV	1	37	7	設問 9-06	内部障害	142	143	4	8.865	2	0.012	p<.050	HIV	14	27	3	設問 9-07	内部障害	87	140	50	1.873	2	0.392		HIV	18	18	7	設問 9-08	内部障害	133	136	12	0.855	2	0.652		HIV	18	25	2	設問 9-09	内部障害	182	85	19	10.198	2	0.006	p<.010	HIV	21	14	9	設問 9-10	内部障害	68	143	71	0.830	2	0.660		HIV	9	22	14	設問 9-11	内部障害	5	105	164	2.782	2	0.249		HIV	0	12	31	設問 9-12	内部障害	44	161	52	4.724	2	0.094	p<.100	HIV	5	23	15	設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279		HIV	6	18	21	設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290
設問 9-02	内部障害	244	39	3	3.201	2	0.202																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	36	7	2					設問 9-03	内部障害	228	61	2	1.876	2	0.391		HIV	32	12	1	設問 9-04	内部障害	162	124	3	3.508	2	0.173		HIV	22	21	2	設問 9-05	内部障害	89	196	3	40.262	2	0.000	p<.001	HIV	1	37	7	設問 9-06	内部障害	142	143	4	8.865	2	0.012	p<.050	HIV	14	27	3	設問 9-07	内部障害	87	140	50	1.873	2	0.392		HIV	18	18	7	設問 9-08	内部障害	133	136	12	0.855	2	0.652		HIV	18	25	2	設問 9-09	内部障害	182	85	19	10.198	2	0.006	p<.010	HIV	21	14	9	設問 9-10	内部障害	68	143	71	0.830	2	0.660		HIV	9	22	14	設問 9-11	内部障害	5	105	164	2.782	2	0.249		HIV	0	12	31	設問 9-12	内部障害	44	161	52	4.724	2	0.094	p<.100	HIV	5	23	15	設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279		HIV	6	18	21	設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11								
設問 9-03	内部障害	228	61	2	1.876	2	0.391																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	32	12	1					設問 9-04	内部障害	162	124	3	3.508	2	0.173		HIV	22	21	2	設問 9-05	内部障害	89	196	3	40.262	2	0.000	p<.001	HIV	1	37	7	設問 9-06	内部障害	142	143	4	8.865	2	0.012	p<.050	HIV	14	27	3	設問 9-07	内部障害	87	140	50	1.873	2	0.392		HIV	18	18	7	設問 9-08	内部障害	133	136	12	0.855	2	0.652		HIV	18	25	2	設問 9-09	内部障害	182	85	19	10.198	2	0.006	p<.010	HIV	21	14	9	設問 9-10	内部障害	68	143	71	0.830	2	0.660		HIV	9	22	14	設問 9-11	内部障害	5	105	164	2.782	2	0.249		HIV	0	12	31	設問 9-12	内部障害	44	161	52	4.724	2	0.094	p<.100	HIV	5	23	15	設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279		HIV	6	18	21	設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																					
設問 9-04	内部障害	162	124	3	3.508	2	0.173																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	22	21	2					設問 9-05	内部障害	89	196	3	40.262	2	0.000	p<.001	HIV	1	37	7	設問 9-06	内部障害	142	143	4	8.865	2	0.012	p<.050	HIV	14	27	3	設問 9-07	内部障害	87	140	50	1.873	2	0.392		HIV	18	18	7	設問 9-08	内部障害	133	136	12	0.855	2	0.652		HIV	18	25	2	設問 9-09	内部障害	182	85	19	10.198	2	0.006	p<.010	HIV	21	14	9	設問 9-10	内部障害	68	143	71	0.830	2	0.660		HIV	9	22	14	設問 9-11	内部障害	5	105	164	2.782	2	0.249		HIV	0	12	31	設問 9-12	内部障害	44	161	52	4.724	2	0.094	p<.100	HIV	5	23	15	設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279		HIV	6	18	21	設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																		
設問 9-05	内部障害	89	196	3	40.262	2	0.000	p<.001																																																																																																																																																																																																																																																		
	HIV	1	37	7					設問 9-06	内部障害	142	143	4	8.865	2	0.012	p<.050	HIV	14	27	3	設問 9-07	内部障害	87	140	50	1.873	2	0.392		HIV	18	18	7	設問 9-08	内部障害	133	136	12	0.855	2	0.652		HIV	18	25	2	設問 9-09	内部障害	182	85	19	10.198	2	0.006	p<.010	HIV	21	14	9	設問 9-10	内部障害	68	143	71	0.830	2	0.660		HIV	9	22	14	設問 9-11	内部障害	5	105	164	2.782	2	0.249		HIV	0	12	31	設問 9-12	内部障害	44	161	52	4.724	2	0.094	p<.100	HIV	5	23	15	設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279		HIV	6	18	21	設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																															
設問 9-06	内部障害	142	143	4	8.865	2	0.012	p<.050																																																																																																																																																																																																																																																		
	HIV	14	27	3					設問 9-07	内部障害	87	140	50	1.873	2	0.392		HIV	18	18	7	設問 9-08	内部障害	133	136	12	0.855	2	0.652		HIV	18	25	2	設問 9-09	内部障害	182	85	19	10.198	2	0.006	p<.010	HIV	21	14	9	設問 9-10	内部障害	68	143	71	0.830	2	0.660		HIV	9	22	14	設問 9-11	内部障害	5	105	164	2.782	2	0.249		HIV	0	12	31	設問 9-12	内部障害	44	161	52	4.724	2	0.094	p<.100	HIV	5	23	15	設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279		HIV	6	18	21	設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																												
設問 9-07	内部障害	87	140	50	1.873	2	0.392																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	18	18	7					設問 9-08	内部障害	133	136	12	0.855	2	0.652		HIV	18	25	2	設問 9-09	内部障害	182	85	19	10.198	2	0.006	p<.010	HIV	21	14	9	設問 9-10	内部障害	68	143	71	0.830	2	0.660		HIV	9	22	14	設問 9-11	内部障害	5	105	164	2.782	2	0.249		HIV	0	12	31	設問 9-12	内部障害	44	161	52	4.724	2	0.094	p<.100	HIV	5	23	15	設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279		HIV	6	18	21	設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																									
設問 9-08	内部障害	133	136	12	0.855	2	0.652																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	18	25	2					設問 9-09	内部障害	182	85	19	10.198	2	0.006	p<.010	HIV	21	14	9	設問 9-10	内部障害	68	143	71	0.830	2	0.660		HIV	9	22	14	設問 9-11	内部障害	5	105	164	2.782	2	0.249		HIV	0	12	31	設問 9-12	内部障害	44	161	52	4.724	2	0.094	p<.100	HIV	5	23	15	設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279		HIV	6	18	21	設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																																						
設問 9-09	内部障害	182	85	19	10.198	2	0.006	p<.010																																																																																																																																																																																																																																																		
	HIV	21	14	9					設問 9-10	内部障害	68	143	71	0.830	2	0.660		HIV	9	22	14	設問 9-11	内部障害	5	105	164	2.782	2	0.249		HIV	0	12	31	設問 9-12	内部障害	44	161	52	4.724	2	0.094	p<.100	HIV	5	23	15	設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279		HIV	6	18	21	設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																																																			
設問 9-10	内部障害	68	143	71	0.830	2	0.660																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	9	22	14					設問 9-11	内部障害	5	105	164	2.782	2	0.249		HIV	0	12	31	設問 9-12	内部障害	44	161	52	4.724	2	0.094	p<.100	HIV	5	23	15	設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279		HIV	6	18	21	設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																																																																
設問 9-11	内部障害	5	105	164	2.782	2	0.249																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	0	12	31					設問 9-12	内部障害	44	161	52	4.724	2	0.094	p<.100	HIV	5	23	15	設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279		HIV	6	18	21	設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																																																																													
設問 9-12	内部障害	44	161	52	4.724	2	0.094	p<.100																																																																																																																																																																																																																																																		
	HIV	5	23	15					設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279		HIV	6	18	21	設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																																																																																										
設問 9-13	内部障害	33	141	95	2.553	2	0.279																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	6	18	21					設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180		HIV	14	28	3	設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																																																																																																							
設問 9-14	内部障害	122	156	8	3.426	2	0.180																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	14	28	3					設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215		HIV	1	26	16	設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																																																																																																																				
設問 9-15	内部障害	25	171	78	3.075	2	0.215																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	1	26	16					設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142		HIV	2	24	16	設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																																																																																																																																	
設問 9-16	内部障害	36	166	73	3.903	2	0.142																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	2	24	16					設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104		HIV	2	21	19	設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																																																																																																																																														
設問 9-17	内部障害	21	172	79	4.529	2	0.104																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	2	21	19					設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479		HIV	2	25	15	設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																																																																																																																																																											
設問 9-18	内部障害	27	164	81	1.473	2	0.479																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	2	25	15					設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109		HIV	6	21	15	設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																																																																																																																																																																								
設問 9-19	内部障害	23	179	67	4.437	2	0.109																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	6	21	15					設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290		HIV	13	20	11																																																																																																																																																																																																																																					
設問 9-20	内部障害	61	157	52	2.479	2	0.290																																																																																																																																																																																																																																																			
	HIV	13	20	11																																																																																																																																																																																																																																																						

		男性	女性				$\chi^2$ 値	自由度	P 値	判定																																																							
性 別	内部障害 HIV	247	101				5.541	1	0.019	p<.050																																																							
		41	6								年 齢	内部障害 HIV	36	138	40-64 歳	65 歳以上	77.177	2	0.000	p<.001	27	19			1, 2 級	3-6 級			障害等級	内部障害 HIV	182	163				3.507	1	0.061	p<.100	31	15				種 別	内部障害 HIV	1 種	2 種				9.361	1	0.002	p<.001	222	80						43	2	
年 齢	内部障害 HIV	36	138	40-64 歳	65 歳以上	77.177	2	0.000	p<.001																																																								
		27	19																																																														
		1, 2 級	3-6 級																																																														
障害等級	内部障害 HIV	182	163				3.507	1	0.061	p<.100																																																							
		31	15								種 別	内部障害 HIV	1 種	2 種				9.361	1	0.002	p<.001	222	80						43	2																																			
種 別	内部障害 HIV	1 種	2 種				9.361	1	0.002	p<.001																																																							
		222	80																																																														
		43	2																																																														

\*欠損値のあるサンプルは各項目ごとに除外して分析した。

表 3 因子分析結果

パターン行列							共通性
	1	2	3	4	5	6	
S0916	0.971	-0.076	0.024	0.025	-0.046	0.012	0.814
S0917	0.899	0.033	0.020	-0.005	-0.046	-0.001	0.786
S0915	0.826	0.100	-0.024	-0.067	0.005	0.068	0.705
S0918	0.798	-0.002	-0.015	-0.035	0.117	-0.047	0.693
S0913	0.012	0.914	-0.025	-0.043	-0.025	0.016	0.569
S0910	-0.019	0.594	0.005	0.158	0.016	-0.005	0.464
S0912	0.191	0.467	-0.006	-0.005	0.076	0.004	0.409
S0911	0.257	0.373	0.043	0.007	-0.099	-0.054	0.312
S0906	0.008	-0.080	0.990	-0.089	-0.013	0.025	0.590
S0908	-0.040	0.131	0.553	-0.052	0.021	0.161	0.423
S0905	0.092	0.031	0.548	0.274	-0.053	-0.170	0.539
S0909	0.051	-0.066	0.240	0.414	0.137	0.024	0.398
S0907	-0.132	0.250	0.206	-0.076	0.100	0.091	0.166
S0904	-0.014	-0.009	-0.018	0.814	-0.040	-0.024	0.467
S0903	-0.078	-0.001	-0.064	0.699	-0.025	0.191	0.460
S0914	-0.024	0.244	-0.015	0.456	0.033	-0.071	0.297
S0920	-0.113	0.069	0.080	-0.064	0.843	-0.094	0.441
S0919	0.198	-0.076	-0.112	0.087	0.706	0.083	0.485
S0901	0.013	0.019	0.013	-0.006	0.004	0.781	0.401
S0902	0.021	-0.013	0.064	0.095	-0.051	0.629	0.397

因子抽出法：主因子法 ・ 回転法：Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

## 因子相関行列

因子	1	2	3	4	5	6
1	1.000					
2	0.500	1.000				
3	0.304	0.228	1.000			
4	0.295	0.384	0.482	1.000		
5	0.415	0.370	0.141	0.161	1.000	
6	0.099	0.120	0.303	0.466	0.015	1.000

因子抽出法：主因子法 ・ 回転法：Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

属性」因子からのものは0.312であった。モデル b2 における各因子の「写真」へのパス係数は、「本人の障害」因子からのものは0.544であり、「本人の属性」因子からのものは0.343であった。

- 分析②における2因子間の相関は0.482であった。分析③の結果では、モデル a3 の2因子間の相関は0.447であり、有意であった。モデル b2 では0.045とほとんど相関がなく、有意ではなかった(C.R.=0.215)。「内部障害」は1因子モデル、「HIV」は2因子モデルの可能性が示唆された。

## 考 察

手帳の利用が適正に行われるためには、手帳の提示者と所持者とが同一人物であることが確認される必要がある。現行の身体障害者手帳には、表1に示したとおり「住所」「氏名」「障害名」「写真」「職業」「学校名」など、さまざまな個人情報が含まれているが、最も短い時間で所持者と提示者とを同定できるツールは「写真」であろう。また、障害をもっていることが視覚的に理解されにくい内部障害者

表 4 分析結果一覧

統計量											
データ	モデル	自由度	P 値	CMIN/DF	RMR	GFI	AGFI	CFI	RMSEA	AIC	CAIC
内部障害	a1	19	0.000	5.124	0.075	0.890	0.791	0.819	0.145	131.363	204.264
	a2	19	0.000	2.946	0.061	0.931	0.870	0.915	0.099	89.978	162.879
	a3	18	0.002	2.332	0.058	0.947	0.893	0.945	0.082	77.980	155.169
HIV	b1	19	0.250	1.196	0.111	0.870	0.753	0.931	0.073	56.719	101.558
	b2	18	0.414	1.036	0.105	0.894	0.787	0.988	0.031	54.644	102.121
	b3	19	0.077	1.493	0.161	0.848	0.712	0.825	0.115	62.358	107.197

パス係数											
		zokusei name	zokusei birth	zokusei address	syougai rank	syougai 1 or 2	syougai ryokyaku	zokusei pic	zokusei disna	zokusei pic	zokusei disna
内部障害	a1	0.674	0.752	0.481	0.850	0.637	0.266	0.618	0.639		
	a2	0.739	0.755	0.488	0.879	0.583	0.235	0.638			0.734
	a3	0.720	0.786	0.495	0.979	0.552	0.215	0.611	0.312		0.524
HIV	b1	0.710	0.836	0.477	0.693	0.753	0.366			0.620	0.491
	b2	0.685	0.869	0.469	0.783	0.685	0.320	0.343		0.544	0.554
	b3	0.709	0.836	0.479	0.933	0.594	*0.238	0.381			0.521

誤差の分散											
		e1	e2	e3	e4	e5	e6	e7	e8	zokusei<->syougai	
内部障害	a1	0.546	0.434	0.769	0.618	0.591	0.278	0.594	0.929	0.648	
	a2	0.454	0.430	0.762	0.593	0.461	0.228	0.660	0.945	0.560	
	a3	0.481	0.382	0.755	0.627	0.482	*0.041	0.695	0.954	0.447	
HIV	b1	0.496	*0.301	0.772	0.615	0.759	0.520	0.433	0.866	*0.237	
	b2	0.531	*0.245	0.780	0.570	0.693	0.387	0.531	0.898	*0.045	
	b3	0.498	*0.300	0.771	0.855	0.728	*0.130	0.647	0.943	*-0.002	

注 1: \*のついた数値は, C.R. の絶対値が 1.96 未満のもの。

注 2: zokusei<->suougai は相関係数。

が手帳を利用するときには, 提示された側が疑問をいだけば「写真」以外の項目で確認作業が行われることがある。その時に用いられる項目のひとつが「障害名」である。「障害名」は, 「写真」と同じく手帳交付時に行政側が記載するため所持者の主観が入り込む余地がなく, 外見上は健常者との差が少ない内部障害者が真に障害者であることの公式の証明(真の手帳の所持者であることの証明)に寄与する。提示された側が「障害名」でも納得できないときには「職業」や「学校名」などが用いられると推察できるが, 日本の障害者の中には様々な理由から無職, 無就学となっている人もいるため, 正直に記載しようとしても「職業」「学校名」などが空欄のままでもありうる。また, 障害のことを職場や学校に知らせていない人の場合には, 提示

された側が職場や学校に確認の連絡を入れたとしても, 本人であることの証明はできるかもしれないが, 障害を持っているか否かについてや, 真の手帳の所持者であるかどうかについては明確な回答が得られないことも考えられる。参考として『身体障害者手帳に関する調査』の自由記述から具体的な例を提示すると, 「障害名」のみで納得してもらえた内部障害者もいれば, 職場や学校まで確認の電話を入れられた人, 障害者であると認定されずに(不正に手帳を作成したと認識されたために)タクシーなどの割引を拒まれた人, 運転免許証などの他の証明書と併用しなければサービスが受けられなかった人, などがいた。

記載項目のすべてを容易に閲覧できる仕様は, 提示された側の視点からみれば, 確認作業を短時間で終えることが

できるメリットである。しかし、提示する側の視点からみれば、手帳の所持者であることを証明してサービスを受けることと引き換えに、知られる必要のないプライバシーまで開示させられてしまう危険性をはらんでいる。この危険性はすべての内部障害者に共通することであるが、HIV感染者の場合は、未だ根強い差別や偏見をふまえて論じる必要がある。

本研究で得られた各因子は、それぞれに属した項目を考慮すれば、「本人の属性」因子は自己証明の機能を持ち、「本人の障害」因子はできるだけオープンにしたいものであって、他者に知られたときには、場合によってはスティグマが付与される機能をもつ、と考えられる。「内部障害」のモデルでは、「写真」は「本人の属性」因子から、「障害名」は2つの因子から影響をうけていた。「内部障害」の人たちには、「障害名」は自分の障害名を相手に知らせてスティグマ化される機能と同時に、真の手帳の所持者であることの証明にも寄与する機能を持つと認識されていると考えられる。これに対して、「HIV」のモデルでは、「障害名」は「本人の障害」因子から、「写真」は2つの因子から影響をうけていた。ここで、具体的にHIV感染者が手帳を利用する場面を推察すると、その手続きは以下のように思われる。HIV感染者が手帳を提示したとき、他の障害者と同様に「写真」を用いて確認作業が行なわれる。しかし、外見上は健常者と大きく差がないことで「真の所持者」であることが疑われれば、「写真」は一時的に「証明機能をもたない」とみなされる。内部障害の場合と同様に「障害名」や「職場」「学校」などの何らかの項目によって「外見上は健常者であるが内部に障害をもつ真の手帳所持者である」ことが確認されるとサービスの利用は可能になり、同時に一時的に失われていた「写真」が持つ証明機能は復活する。ただし、失われていた証明機能は「障害名」などで真の手帳所持者（と同時にHIV感染者）であると確認された後に復活するため、この段階の「写真」は提示者が「真の手帳所持者であり、かつ、HIV感染者である」ことを「今-ここ」で証明する機能をもつ。「HIV」の人たちには、「写真」は真の手帳の所持者であることを証明する機能をもつと同時に、「今-ここ」で差別や偏見のまなざしをうけ、スティグマが付与される機能をもつと認識されていると考えることができる。

ところで、HIV感染者がサービスを利用しないことを選択したとき、その理由としては、①サービスを必要としない、②本人の生活に適合するサービスがない、③サービスを利用しにくい、などが考えられる。手帳取得手続きに関連する医療・行政関係者からの差別の排除や、行政サービスを受けるときの行政関係者の対応の改善が求められている<sup>6)</sup>ことから推察できるように、③には手帳の取得や利

用時にスティグマ化されることを回避するためにサービスを利用しない人も含まれるだろう。手帳に関連するサービスを利用するためには、手帳の「真の所持者」であることを何らかの手段で証明しなければならない。その手段として最有力のツールは「写真」であるが、HIV感染者にとっての現行の手帳の「写真」には、手帳の所持者であることを証明する機能だけでなく、HIV感染者であることを知られて「今-ここ」でスティグマが付与される機能もあった。また、「写真」に各因子が及ぼす影響の大きさは、「本人の属性」因子からのものに比べると、「本人の障害」因子からのものは1.586倍とやや大きかった。HIV感染者にとっての現行の手帳は、手帳を利用することで得られるサービスのメリットよりも、スティグマ化を回避するためにサービスの利用を躊躇せざるをえない、と認識されていることが推察される。

以上のことから、HIV感染者にとっての現行の手帳の問題点は、差別や偏見のある社会で利用するにはプライバシーが無防備に開示されてしまう手帳の仕様と、プライバシーを必要以上に開示させずに短時間で所持者と提示者とを同定できる利用システムではないこと、と考えられる。HIV感染者が各種サービスを利用しながら地域社会のなかで生活しやすくするためには、行政サービス以外の各種サービスについてもスティグマの付与を防ぐことができるシステムが必要であろう。本稿の結果から考えられる具体的な手帳の改善策としては、「真の所持者」であることを証明する「本人の属性」因子のもつ機能を保持しつつ、差別や偏見を引き起こす「本人の障害」因子のもつ機能の影響を小さくすること（スティグマ化を引き起こす項目を閲覧できないようにすることなど）が妥当であると思われる。また、2因子間の相関がほとんどなかったことから、後者の因子のもつ機能への対策は、前者の因子のもつ機能を損なわないと考えられる。

今回えられたデータは各団体を經由した調査であり、サンプル数も少ない。このため、本調査で採用されたモデルは、今回もちいたデータの範囲においてのみ妥当であるとしかれないことを付記しておく。

謝辞：今回の調査に御協力いただいた諸団体、及び、その会員の方々に感謝申し上げます。

## 文 献

- 1) 小西加保留, 磐井静江 : HIV感染者へのソーシャルワーク。医療と福祉, No. 66, 32 (1) : 3-10, 1998.
- 2) 磐井静江, 小西加保留 : HIV感染者の身体障害者認定の経緯とICIDH-2への期待。リハビリテーション研究, No. 96 : 15-19, 1998.

- 3) 赤塚光子, 高橋紘土, 磐井静江, 於保真理, 小松聖司 : HIV 感染者の身体障害者手帳 (免疫機能障害) の取得と利用に関する考察. 第 14 回日本エイズ学会一般講演発表, 日本エイズ学会誌 2 : 415, 2000.
- 4) 狩野裕 : AMOS による共分散構造分析と解析事例. ナカニシヤ出版, 1999.
- 5) 狩野裕 : 共分散構造分析とソフトウェア. BASIC 数学 1996 年 6 月号~1997 年 3 月号, 現代数学社.
- 6) 山崎喜比古, 瀬戸信一郎 : HIV 感染被害者の生存・生活・人生. 有信堂, 2000.

## A Consideration of the Opinions of the HIV-infected about the Certificate of Disability

Mituko AKATSUKA<sup>1)</sup>, Hiroshi TAKAHASHI<sup>1)</sup>, Mari OHO<sup>2)</sup> and Satoshi KOMATSU<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup> Rikkyo University

<sup>2)</sup> A Meeting for the Study of Community Social Welfare

<sup>3)</sup> Naganoken Shakaifukushi Jigyoudan Social Welfare Corporation, The Trustee Office of Nishikomago

**Objective** : The purpose of this study was to point out some problems with the certificate of disability by comparing the opinions of those infected with HIV to those of others suffering hidden disability.

**Material and Methods** : the opinions of 398 participants who were classified as having hidden disabilities under “research on the certification of disability”, were analyzed by cross table, factor analysis, and analysis of factor models.

**Results** : the results were 1) cross table analysis showed a significant difference between HIV-infected and internal disabilities for the items “name of disability” and “picture of owner of the certificate”. 2) the item “name of disability” belonged to both factors of “disability of persons” and “attribute of persons” in case of internal disabilities, but it belonged to the factor of “disability of persons” in case of HIV-infection. 3) the item “picture of owner of the certification” belonged to the factor of “attribute of persons” in case of internal disabilities but it belonged to both factors in case of HIV-infection.

**Conclusion** : Problems with the current certificate of disability for the HIV-infected were specifications of the certificate which infringed on the owner’s privacy, and social system use of the certificate which would not identify persons who present the certificate as its owner in a short time without excessive privacy. It is appropriate to the measures to retain the factor of “attribute of persons” which identifies the presenter as the owner, and to reduce effects of the factor of “disability of persons” to a minimum. Measures against the function of the latter factor would not exist enlarge the function of the former factor, because no correlation between the two factors.

**Key words** : the certificate of disability, HIV-infected, internal disabilities